

## 平成26年度 第6学年 家庭科

### 家庭科の目標は…

「衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にしている心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる」ことです。

### 学年の目標

5・6年の2年間を通して段階的に取り組みます。

- (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。
- (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。
- (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

### 口田小学校では、特に…

- 家庭での生活経験が様々な子どもたちが、自分たちの生活に目を向け、自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする態度を育てるために、子どもたちの生活を基にして学習の計画を立てます。
- 「楽しかった」「こんなことが分かった」「家でもやってみよう」ということがたくさんあるように、実習を多く取り入れ、製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を繰り返し指導することで、自分の身の回りの生活に活用できるようにしていきます。
- 製作や調理などの体験を通して、生活の中のさまざまな言葉を、実感をともなって理解する場面を設定し、観察や実習の際のレポート作成や、考察・思考したことを発表する場面を取り入れ、家庭科のねらいが確実に定着できるようにしていきます。

### 評価の観点と方法

次のような内容を総合的に組み合わせて評価していきます。

- ・学習への意欲や関心
- ・授業中の態度や発言
- ・ノートやプリントの内容
- ・課題や実習への取り組み状況
- ・製作や調理の基礎的な技能
- ・テストの結果

### 保護者の皆様へお願い

- ☆ 実習の指導においては、安全・衛生面に十分配慮し行います。マスク、三角巾、エプロン、手ふきタオルの忘れ物がないよう用意をお願いします。
- ☆ 裁縫用具でなくなったものは、その都度各自で購入をしてください。その際記名を忘れないようお願いします。
- ☆ 学校で学習したことを家庭で実践してこそ本当の力となります。学校での実習を一つのきっかけとして、家庭でも機会を見つけ生活に必要な力を付けられるようにご協力をお願いします。家族に教えてもらったり喜んでもらったりして、ふれあいの中から学ぶことで家族の一員としての自覚も高まると思います。インタビューや調理の実践など、家庭の協力をお願いすることも多いと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

年間指導計画 (全55時間)

	月	題材	小題材	学習のねらい
前期	四	1 くふうしよう朝の生活	①生活時間を見直そう ②共に過ごす時間をつくろう ③朝食を考えよう	○生活時間を見直し、朝の生活の仕方や、家族のふれあいの時間を工夫することができるようにする。 ○朝食に合う簡単なおかずを考え計画を立てることができる。 ○調理方法を考え、簡単なおかずを作ることができる。 ○健康な体をつくり、元気に生活するために、いろいろな食品をバランスよく食べることの必要性を理解する。 ○自分の食事の仕方や栄養的なバランスを考え、よりよい食事をする。
	五	2 きれいにしようクリーン大作戦	①身の回りのよごれを調べてみよう ②そうじをしてきれいにしよう ③トライ！エコ生活	○ごみのしまつや不用品の活用のしかたを工夫し、環境を考えた生活のしかたがわかる。  ○住まい方に関心を持ち、工夫してそうじができる。
	六			
	七 九	3 暑い季節を快適に	①すずしい住まい方をくふうしよう ②すずしい着方をくふうしよう ③洗たくをしてみよう	○すずしい住まい方や衣服の着方に関心を持ち身の回りで、暑い季節を快適に過ごすためにしている工夫を見つけ、自分でできることを考える。  ○衣服の手入れに関心を持ち、気持ちよくきるための手入れができる。  ○衣服の手入れの必要性を理解し、日常着の洗濯を工夫しておこなうことができる。
後期	十	4 生活を楽しくしようソーイング	①つくりたいものを考え、計画しよう②くふうしてつくろう ③楽しく使おう	○布を用いた生活に役立つ物の制作に関心を持ち、工夫して製作ができる。 ○制作の喜びや活用する楽しさがわかる。
	十一	5 くふうしよう楽しい食事	①バランスのよいこんだてを考えよう ②身近な食品でおかずをつくろう ③家族と楽しく食事をしよう	○栄養のバランスを考え、1食文の献立を立てることができる。  ○身近な食品を用いて調理計画を立て、簡単なおかずを作ることができる。  ○日常の食事の大切さに気付き楽しく食事をしようとする。
	十二			
	一 二	6 考えようこれからの生活	①わたしたちの生活と環境 ②感謝の気持ちを伝えよう ③人びとや環境とのかかわり	○自分や身近な人びととの生活や環境とのかかわりに気付き、快適な生活のしかたを工夫することができる。 ○近隣の人びととのかかわりについて考え、気持ちの伝え方が工夫できる。 ○地域で快適に生活するための工夫について考え、実践しようとする態度を養う。
三	成長したわたしたち		2年間の学習をふり振り返り、自分の成長を自覚し、できることを家庭で継続実践し、進んで生活に生かしていこうとする態度を身に付ける。	

